



1 法人会員の一つ久保工の屋上にある菜園。収穫物は社員が楽しむだけでなく、周辺のおにぎり屋にも提供される計画だ 2 3 神田にある、ちよだプラットフォームスクウェアの屋上菜園。千代田幼稚園の園児たちが苗植えをした。テラスも設置され、昼休みなどにくつろぎに訪れる人も多い 4 松屋銀座では8/7に収穫祭を開催。収穫した夏野菜で作ったカレーなどが振る舞われた

秘密はこの土にある!

有機質であり、かつ微生物分解しつくした泥炭を使用しているため経年変化もない特別な土。そのため、菜園の状態を見るのは週に10分程度でOK。見れば水が必要そうなど、作物に何かしらのサインが出ているが、通常はこのサインが出た段階では手遅れだそう。それでも大丈夫なところが、この土の力のすごさだ。

②左が大江戸野菜が使う土、右が他社の土を使用。作物の育ちの違いがよくわかる③土の力が強いいため、初心者でも扱いやすい



「最近マンションでもリビングの先のバルコニーにウッドデッキを作った物件があります。そういう場所が都心の利便性を失うことなく野菜を作り、そして採れたての野菜でおいしい料理を作る。こんなスタイル

また屋上という立地も好条件になる。害虫が屋上まで来ないため、無農薬で野菜が作れるのだ。さらに陽当たりが良いため、作物を育てるためには最適な環境でもある。

「最近マンションでもリビングの先のバルコニーにウッドデッキを作った物件があります。そういう場所が都心の利便性を失うことなく野菜を作り、そして採れたての野菜でおいしい料理を作る。こんなスタイル



■大江戸野菜研究会

〒東京都千代田区神田
1-16-9内神田サニービル別館5階 久保工内
☎03-3259-4670
🌐ooodoyasai.com/
●屋上菜園問い合わせ先 写真
①久保工 写真②③ミドリウム
☎03-5283-1388 写真④
松屋銀座☎03-3567-1211

「ルを定着させたいんです」大江戸野菜研究会のメンバーは、そんな夢を描いている。エコでヘルシー。新しいライフスタイルとして、都心の菜園はきつと受け入れられるはずだ。

【屋上で育てる】 土地がなくとも野菜が育つ 驚きの空中菜園を発見!

事務局長の高汐健司さんは、「屋上緑化は管理維持費が高いうえ、環境意識の高いオーナーが屋上に芝生を敷設しても、芝刈りなど、実際に管理する人は嫌々やっている場合も多いんです。ところが菜園の場合は興味のある人が自然に集い、皆さん楽しんでいきますから」

と言う。現在、都内の数か所に屋上菜園があるが、世話はビルに入居

銀座や神田といった東京のビル群のど真ん中で野菜を作っている人々がいる。手がけているのは、NPO法人・大江戸野菜研究会。地球温暖化対策として近年、屋上緑化が話題だが、この研究会の目的は、東京中のビルの屋上に菜園を作ることだ。

「各企業の有志という場合がほとんど。菜園つながりでそういうグループが自然にできるのだとか。東京・松屋銀座にある屋上菜園もその一つ。8月には有志らが集い、とうとう収穫パーティまで行われた。また、オフィスビルであるちよだプラットフォームスクウェアでは、スカイファームクラブという同好会も誕生している。

そもそもビルの屋上で野菜を作るには大量の土と肥料が必要だ。

そのため、荷重制限のあるビルの屋上で菜園を作るのは難しい。ところが、同研究会で使っている特別な土が、それを可能にした。重量が軽く、保水性も保肥力も抜群。土厚はわずか10cm、水やりも1週間に1回程度で作物が育ってしまうという。土の原料は、石炭になる前の段階の泥炭。土そのものが有機質のため元肥は不要という夢のような土だ。

